

福岡県久留米市



コミュニティ名：久留米市

国：日本

コミュニティの人口：305,735人（2013年7月1日現在）

セーフコミュニティプログラムを開始した年：2011年



国際SCNメンバーシップ：

認証年：2013年

認証した認証センター：アジア地域認証センター(韓国)

http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2020bousaianzen/3100safe_commu/index.html

詳細に関する問い合わせ：

名前：黒岩 竹直

組織：久留米市 協働推進部 安全安心推進課

住所：福岡県久留米市城南町15番地3

郵便番号：830-8520

自治体名：久留米市

国名：日本

電話番号（国番号を含む）：+81-942-30-9094

ファックス：+81-942-30-9706

メールアドレス：anzen@city.kurume.fukuoka.jp

<http://www.city.kurume.fukuoka.jp>

セーフコミュニティプログラムに関する報告



年齢ごと

子ども (0-14 歳)

家庭：

- ・乳幼児の事故予防パンフレットの保護者への配布
- ・幼児安全講習会
- ・救命講習
- ・ヤングテレホン

交通：

- ・交通安全教室
- ・学校周辺通学路路側帯カラー舗装
- ・バリアフリー歩行空間ネットワーク事業

学校：

- ・無記名アンケート及び教育相談
- ・家庭用チェックリストの配布
- ・教職員研修
- ・学校周辺通学路路側帯カラー舗装
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・子ども見守りパトロール
- ・交通安全教室

スポーツ：

- ・スポーツ講演会
- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修

余暇：

- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修
- ・泳げない子どものための水泳教室
- ・子ども見守りパトロール

若者 15-24 歳 :*家庭 :*

- ・救命講習
- ・ヤングテレホン

交通 :

- ・交通安全教室
- ・バイク通学者への講習

職場 :

- ・労働相談

学校 :

- ・バイク通学者への講習
- ・ヤングテレホン

スポーツ :

- ・スポーツ講演会
- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修

余暇 :

- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修

成人 25-64 歳*家庭 :*

- ・救命講習

交通 :

- ・バリアフリー歩行空間ネットワーク事業

職場 :

- ・労働相談

学校 :

- ・教職員研修

スポーツ：

- ・スポーツ講演会
- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修

余暇：

- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修

高齢者 65歳以上：

家庭：

- ・安心登録・位置検索サービス利用料助成
- ・高齢者住宅の段差解消など住宅改造の費用助成

交通：

- ・シルバーセーフティスクール
- ・バリアフリー歩行空間ネットワーク事業

スポーツ：

- ・公園、児童遊園等の遊具安全点検及び補修

自然災害：

- ・災害ボランティア養成講座
- ・総合防災訓練
- ・災害時要援護者支援プランの推進

その他：

- ・ホームレスへの支援

暴力予防（意図的傷害）：

- ・繁華街地区の防犯灯、防犯カメラの設置
- ・防犯灯の設置・維持管理
- ・婦人相談（含DV相談）

自殺予防（自傷）：

- ・かかりつけ医うつ病アプローチ研修会
- ・ゲートキーパー養成講座
- ・精神保健福祉相談（こころの健康相談）

ハイリスクグループに対する取組：

虐待を受けやすい立場にある子ども

- ・乳児家庭訪問事業の地域連携
- ・中学校への出前サロン事業
- ・子どもによるオレンジリボン作成

DVの被害を受けやすい立場にある女性

- ・男女共同参画・DV防止に関する啓発の充実
- ・教育現場等における予防教育の充実
- ・医療関係者に対する研修の強化
- ・医療機関における被害者支援の取り組みの促進
- ・子どもに関わる業務に携わる職務関係者に対する研修の充実
- ・被害者の心理的・社会的な回復支援の検討
- ・子ども向け電話相談の実施
- ・DV被害者の子どもへの理解を促すための研修
- ・DV被害者の子どもへの学習支援

虐待を受けやすい立場にある高齢者

- ・虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催
- ・認知症サポーター養成講座
- ・介護サービス提供事業所職員への虐待防止のための研修
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・家族介護教室の開催
- ・ものわすれ予防検診

転倒によりけがをしやすい高齢者

- ・転倒に関するパンフレットの作成
- ・介護状態にならないための予防事業の実施
- ・健康、体力維持を目的とした、地域活動への支援

自殺のリスクのある人

- ・ゲートキーパーの養成
- ・かかりつけ医うつ病アプローチ研修の実施
- ・自殺対策連絡協議会の実施
- ・ワンストップサービス相談の実施

自然災害において外傷のハイリスクにある人

- ・災害時要援護者名簿登録推進にむけた積極的な情報提供
- ・災害時要援護者個別対応計画作成

ハイリスク環境

筑後川等の浸水想定地域

- ・地域の避難計画を作成
- ・避難支援マップの配布

土砂災害の危険のある場所（土砂災害特別警戒区域等）

- ・地域の避難計画を作成
- ・土砂災害ハザードマップの配布
- ・緊急告知FMラジオの配布

外傷サーベイランス：

継続的なデータ収集の計画

外傷等動向調査を構成するデータについては、持続可能なシステムにするために、以下のとおり医療機関や行政機関によるデータについては毎年を基本に、また、アンケート調査については定期的に収集・分析を行っていく予定です。

サーベイランスを構成するデータ		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
医療機関によるデータ	①医療機関データ	●	●	●	●	●	●	●
行政機関によるデータ	②人口動態統計	●	●	●	●	●	●	●
	③警察統計	●	●	●	●	●	●	●
	④救急搬送データ	●	●	●	●	●	●	●
	⑤児童相談所相談記録	●	●	●	●	●	●	●
	⑥家庭子ども相談課相談記録	●	●	●	●	●	●	●
	⑦男女平等推進センター相談記録	●	●	●	●	●	●	●
	⑧消費生活センター多重債務者等の相談件数	●	●	●	●	●	●	●
	⑨保健予防課精神保健相談件数	●	●	●	●	●	●	●
	⑩保健室けが調べ	●	●	●	●	●	●	●
	⑪学校災害給付請求データ	●	●	●	●	●	●	●

アンケート調査	⑫事故やケガなどについての実態調査 (概ね3年毎実施)	●			●			●
	⑬久留米市民意識調査 (概ね3年毎実施)	●			●			●
	⑭次世代育成に関するニーズ調査 (概ね5年毎実施)			●				
	⑮高齢者実態調査 (概ね3年毎実施)			●			●	
	⑯男女平等に関する市民意識調査 (概ね5年毎実施)				●			
	⑰生徒への安全アンケート調査 (概ね毎年実施)	●	●	●	●	●	●	●

年間件数：3,500件 (救急搬送データ)

人口基盤：305,735人 (2013年7月1日現在)

開始年：2011年

スタッフ



人数：9人

職業：市職員

非常勤か常勤か：非常勤1人、常勤8人

正規雇用：8人 非正規雇用：1人

組織：

安全向上のための特定の分野横断的組織：

- ・久留米市セーフコミュニティ推進協議会
- ・久留米市セーフコミュニティ対策委員会
- ・久留米市校区コミュニティ組織

一般的公衆衛生・健康増進のグループ：

- ・久留米市外傷等動向調査委員会
- ・久留米大学病院
- ・久留米医師会
- ・久留米市保健所



国際的コミットメント：

視察：

- ・韓国セーフコミュニティ済州島（特別自治州）視察・研修参加（韓国、済州島）2012年6月

セーフコミュニティ会議への参加：

- ・セーフスクール認証センター認証記念シンポジウム
参加（日本、大阪）2011年12月
- ・第6回アジア地域セーフコミュニティ会議（豊島区）
参加及び発表（日本、東京）2012年12月



その他：

久留米市のセーフコミュニティ現地審査(2013年8月6日～8日)に韓国のSC関係自治体がオブザーバーとして参加